



本日は、炊き出しの開始に先立ち、この1年間の間に路上で亡くなられた方をとむらう「偲ぶ会」です。KS住職(徳照寺)が参り、お経を唱えてくださいました。皆でお焼香しました。炊き出しボラ初参加1年生もていねいに拝みました。内容が分かっていたかは、尋ねるのを忘れました。でもいいんですね。こうしてもらって、喜んでくれていると思います。

## 炊きだし 9月14日(土)晴れ

9:00元寺小路教会に集合・準備。 12:00五橋公園 炊き出し 13:30 教会で反省会

公園にお出でになった方は42人でした。きょうの炊き出しにはたくさんの外国人ボランティアが参加していて、生徒にとっては刺激にあふれた日でした。進路もまだ決まっていない3年生たち5人と、初参加の1年生6人の組み合わせになりました。「3年生は進路活動のため、とりあえずラスト参加になるかもしれませんので、心残りのないように休みなくお仕事すると思います。」と、Wさん(会長)にお願いしました。その結果、3年生はへろへろに。しかし、さすがでした。仕事の忙しさに文句を言いません。感心しました。疲れても、元気に騒ぎます。

終了後の反省会では、Wさんが粹な進行をしてくれました。「3年生は3年間の参加の感想と1年生への激励を。1年生は初参加の感想のほかにも、3年生への一言を言いましょ」と、教師顔負けの指示をしました。

「この活動をしていて大事なことは、笑顔だと思います。」3年生がこう言って、顧問はドキリとしました。

「こういう経験(炊き出しボラ)はなかなかできないことなので、私としては得がたいたくさんのご縁を得たので、後輩たちにも3年間続けてもらって、頑張ってもらいたいです。」また顧問は、一人で心の内で感動などしておりました。そうやって一人一人が語りました。また1年生たちは、「こんなに大変とは思いませんでした」と初感想を正直に語り、「先輩お疲れ様でした。進路に向けて頑張ってください」と、きちんと述べ、感心いたしました。



3年生の動きはテキパキと。さすがベテラン。



信じられないほどに、黙々と。

○最後のボランティア活動だったので、いつもより気合いが入りました。全員そろって、協力し合っできたのがとてもよかったと思いました。1年生や外人の方などと楽しく活動することができ、思い出に残りました。ホームレスの人たちの人数もいつもより少なく、少しずつですがよくなっているのかなと思いました。(高3年)



初参加の1年生たちは、何もかもめずらしくて……。

○初めての炊き出しボランティアの活動に参加して、たくさん学ぶことができました。いろいろな国の方々と活動することができ、いい経験になりました。3年生の先輩方は「笑顔」で積極的に活動していたので、見習わなければならないなと思いました。来年、再来年自分たちも先輩方のように活動してゆきたいと思います。(高1年)

○皆さんと仲よく炊き出しができました。おにぎりを握るのが熱くて、熱を取るのに少し苦労しましたが、ホームレスの皆さんに喜んでもらえましたし、「おいしい」とかうれしいお言葉もいただけたのでよかったと思います。3年生が引退ですが、教わったことを次回につなげられたらと思います。(高1年)



リーダーは、すっかりWさん直属の部下になって、とても幸せなことです。フーツ疲れた一と、何度か耳にしたけれど、いいことでした。

○初めての炊き出しボランティアでした。私たちだけではなく、外国の方たちも一緒にボランティア活動をしました。先輩とは最初で最後の一緒の活動になりました。次回からは先輩みたく積極的に頑張ります。自分から行動し、先輩に教えていただいた【笑顔】を忘れません。(高1年)



和尚さまが最初の説明をなさいました。



お経を唱えます。



皆でご焼香です。



いよいよ、やっと炊き出し開始です。  
やれやれ。



コーヒーコーナーの娘セットです。  
ウリダシチュウです

○炊き出しの準備をしたり、おにぎりや電池、服類を並べたりなど、スムーズにやることができたが、もう少し早く準備できるようにしたいと思った。自分からホームレスの方と接することができなくて残念だった。次回は自分からいきたいと思った。(高1年)



なぜこんなことに？ 誰かが、はい皆さんこっち、と言ってカメラを向けたもんだから、炊き出し中にもかかわらず、おじさんたちに申し訳ございませんでした。……「若い人たちがいると、にぎやかでいいねえ」と言われました。



衣料提供が始まりました。ちょっと緊張の1年生。



お靴ですね、これに書いて下さい。  
部長は慣れていきます。



大きさは合いますか？



品定めをしています。



選ぶのを待って、見えます。



はいこれですか？



今回は、ご覧のような日本のむすめたちと、たくさんの外国人ボランティアと、教会の方たち、それとオヤジでした。この後に同好会メンバーだけで撮り、そこで3年生たちはまた声をそろえて「3年間ありがとうございました」などと言ってきます。つくり泣きで応えながら、ほんとうに涙がこぼれそうになり、アブナイアブナイ…。

生徒たちにとってボランティアとはなんだろう、と考えるときがあります。それはこの日3年生たちと一日お伴したからでしょう。ボランティアで得るものは、アルバイトとも違う。お金は、ほしければバイトをすればいい。しかし、アルバイトをしている生徒も、頼みもしないのにボランティアにやってくる。そして、目を見はるほどにバリバリと動く。どんなに大変でも心を動かすものが、ボランティアにはあるにちがいない。参加回数を重ねるごとに、自分の中に受け取ってゆくものがあるにちがいない。それは、ありがとう、ということばの重みだったり、初めて会う人たちとの共同作業だったり…。

いずれこの日も、顧問は生徒たちに「心の宝もの」をいただいた、と思いました。

「ありがとうございました。」ということばは、むしろ顧問から生徒たちへの思いでもありました。こういう生徒たちに出会えたことに感謝しなければなりません。また、活動をし通すことのできたことに、その支えとなった正平協に、生徒のご家族に、学校に、感謝です。

募金の時も、炊き出しボランティアの時も、始まる日の朝、参加する生徒たちのために祈ります。豊かな恵の日となりますように。生徒にとってよい経験と出会いの日となりますように、と。そして、帰りには、お礼を述べます。

献品： 今月は小学校保護者より大量のお米をいただきました。ありがとうございました。

**夜回り** 9月11日(水) 20:10~21:10 晴

遅れて、参加した。〈Sさん〉セット12345

HSさん日記

不在。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会(代表W)がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただければ、一緒にいたします。